

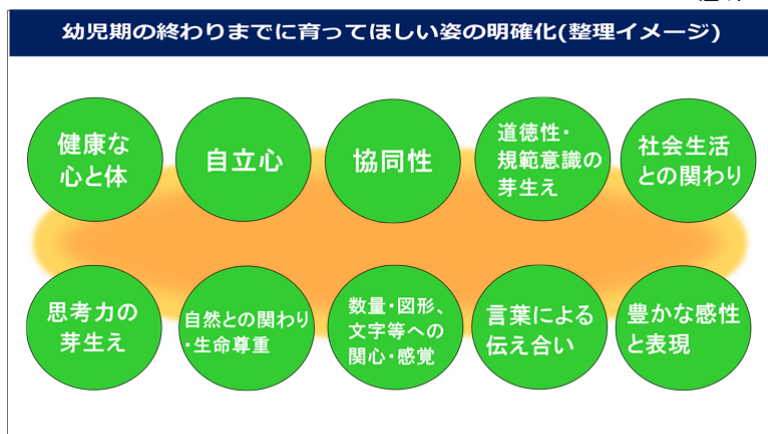
子どもたちの学びと育ちをつなぐ 第2回市島地域幼小合同研修会

昨日、市島地域の認定こども園・小学校の教職員を対象にした市島地域幼小合同研修会に参加しました。吉見小学校の1年生「国語」を授業公開頂き、その後で飯野祐樹准教授（兵教大）にご講演いただきました。幼小の違いをわかりやすくお話頂きました。以下、私の捉えですが簡単にまとめてみました。

	こども園	小学校
活動の時間	制限なし。やりたいことが終わるまで。もしくは飽きるまで	授業時間という制限あり
遊びの捉え	遊びは目的 遊びを通して様々な力をつけていく	遊びは手段（生活科） 遊びは目標達成のための手段
先生の言葉かけ	子どもの発する言葉に色づけ	先生からの発問
活動へのキーワード	熱中・夢中	集中

子ども園の先生と小学校の先生が話をする際の共通言語とし

（図1）



引用：中央教育審議会初等中等教育分科会教育課程部会
幼児教育部会（第10回）配付資料（H28.10.31）

て「幼児期に育ってほしい10の姿」があることや資質・能力についても学びに向かう力をつけるためには、子どもたちが試行錯誤する機会が必要



であることなど小学校の先生方が子ども園の保育を参観する際の視点にもなると感じました。

また、私たちが何気なく使っている幼小の「連携」「接続」については以下のように

違いを明確にさせていただきました。

連携・・・こども園と小学校の人同士のつながり

接続・・・カリキュラム・しくみのつながり

夏季休業中に引き続き、地域の幼小で行う２回目の研修会でした。市島地域では現在４校ある小学校が統合し、令和８年度には認定こども園単位の２小学校になります。その意味でも幼小の連携・小小の連携、小中の連携を大切に、これまで以上に子どもたちの育ちと学びをつないでいく学校園を目指していきたいと考えています。

【竹田小学校最後の参観日にあわせて開催します。】

『竹田小懐かしの写真公開デー』

1月31日(水)～2月2日(金)13:00～17:00 場所:図工室(2階)

閉校に向けてこれまで学校で保管している写真などを整理しています。

竹田小を卒業された皆様にとって懐かしい写真や貴重な写真が残っており、展示したいと考えております。また、閉校式・閉校イベントとは別に、地域・保護者の方々が竹田小へお越しいただく機会となればと考えています。ご覧になりたい方は、是非学校へお越しください。